



けやき会通信

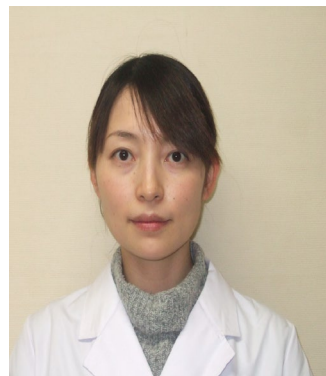


新任のご挨拶

代謝内分泌内科 医員 野村 瞳

本年4月より関東中央病院代謝内分泌内科に入職させて頂きました野村瞳と申します。

私は東京女子医科大学を2006年に卒業し、2年間の初期研修を経て東京女子医科大学病院の内分泌内科に入局しました。大学では主に下垂体や甲状腺、副腎の疾患といった、一般的にはあまりなじみのない病気でしょうか、そういったものを中心に診ておりました。その後は医局からの出向として静岡県浜松市や埼玉県久喜市の病院で数年間勤務しておりました。出向先では内分泌疾患のみならず、多くの糖尿病教育入院や糖尿病外来に従事させていただきました。



学生時代は社交ダンス部に所属しており、主にモダンダンス(肌の露出が少ない方です)を踊っておりました。入学当時、芸能人が社交ダンスを踊るという企画の番組が人気でミーハー的な興味から入部しましたが、実際やってみると、当たり前のことかもしれませんがダンスのステップを踏む前に筋力等をつける基礎練習が多くかなり体育会系の種目で、テレビの華やかな画面しか見ていなかった私は少しだまされた感じがしてしまいました。

しかし何年も続けていると、太ももの筋肉がプルプルして辛かった基礎練習も、慣れたのか体ができてきたのかちょっと楽にできるようになったり、前はうまく踏めなかったステップもちゃんと踏めるようになったりと楽しいことが増えてきて、一生の趣味にしようかななどと考えるようにもなりました。ついでにハイヒールをはいて走ったり飛んだりするという特技も身に着けることができました。

この時に出会った部活の仲間達とは、社会にでてからも連絡をとりあう大切な友人になっています。辛い練習なども仲間がいると途中で自分だけが脱落することは嫌だなと思えますし、励ましあって気持ちが高めることができます。大変だったことはその後笑い話になったり、絆を深めるきっかけになったりします。

櫛会40周年記念誌「けやき」を読ませて頂いたのですが、会員の皆様の意識の高さと知識の深さに感銘を受けました。皆様も多くの仲間がいるからこんなに前向きに治療に取り組めていらっしゃるのかなと思いました。例会で実際に皆様にお会いしてお話できることを今から楽しみにしております。美味しい低カロリー・低塩分の昼食もできると聞きました。そちらも楽しみです。

微力ながら私も皆様のお力になればと思います。これからよろしく願いいたします。

